

介護保険事業所における事故報告事例(参考)

No.	サービス種類	発生時間	場所	事故の概要	事故の対応	再発防止策
1	介護老人福祉施設	深夜	トイレ内	自身でトイレへ行き、便座から立上がったところ転倒し、骨折した。	本人へ状態の確認とバイタルチェックを行う。家族へ連絡し病院受診を行った。	夜間巡回時に声かけを行う。立位時も援助する。
2	短期入所	深夜	トイレ内	トイレよりドスンと音がしたため、かけつけると便座前で転倒していた。	状態確認とバイタルチェックを行い、経過観察。翌日家族へ連絡し、病院受診を行った。	排泄は自立しており、歩行器を使用されている。居室からトイレまでは距離があり、歩行時の転倒するリスクも考慮し、居室内にPトイレを設置し様子を見る。
3	介護老人福祉施設	日中	ホール	歩行中バランスを崩して転倒し骨折した。	家族へ連絡し、病院受診を行う。	より安全に配慮したテーブル等の配置に変更。声かけも、不意にならないように配慮する。
4	認知症対応型 共同生活	深夜	居室	声がしたため、居室へ行ったところベッド横に転倒しているのを発見した。	本人へ状態の確認とバイタルチェックを行う。家族へ連絡し病院受診を行った。	カーペットが敷いてあり、ずれて滑ったと考えられる。滑り止めマットを敷き、カーペットがずれないように対処した。
5	有料老人ホーム	深夜	居室	離床センサーがなったため伺ったところベッド横の床に倒れているところを発見した。	全身状態を確認しバイタルチェックを行う。	立位不安定で歩行困難なところもあり、離床センサーに加え、夜間入眠後はマットを敷き、転落事故防止を行った。
6	認知症対応型 共同生活	朝	ホール	朝食を食べに居室からホールに移動する際、本人より足が動かない訴えあり。痛みはなく経過観察となったが、時間をあけ再度確認すると痛いと言われで病院受診。骨折が判明する。	本人へ状態の確認とバイタルチェックを行う。家族へ連絡し病院受診を行った。	居室内での転倒も考えられるため、移動につき歩行器の使用を勧め、ベッドやタンス、センサー位置の変更を行い、歩行器で転回・移動がしやすいよう環境づくりを行う。

7	認知症対応型 共同生活	深夜	廊下	センサー反応があり、伺う途中 ドスンと音がした。廊下で転倒 し、骨折した。	状態確認し、経過観察。翌日家 族へ連絡し、病院受診を行っ た。	手すりにつかまり損ねて転倒されたた め、居室の出入口にも手すり設置の検討 をする。
8	通所介護	日中	ホール	ホールにてウトウトと椅子に座 っていた。職員が背を向けてい る間に、立ち上がろうとし転倒 した。	本人へ状態の確認とバイタル チェックを行う。家族へ連絡し 病院受診を行った。	自立歩行の方のリスクマネジメントを行 い、情報共有を行う。
9	介護老人福祉施設	日中	居室	介助のため居室を訪問したとこ ろベッド横の床に倒れていた。	本人へ状態の確認とバイタル チェックを行う。家族へ連絡し 病院受診を行った。	離床センサーやマットレスを床に敷き、巡 回時間の見直し等強化を行う。